

## 定期報告(ウルグアイ内政・外交:2020年8月)

### 1 ポイント

#### 【内政】

●6日、世論調査会社Factum社がモンテビデオ知事選挙の投票動向調査結果を発表したところ、各党及び候補者に対する支持率は野党拡大戦線(53%)、連立与党統一候補(34%)で、野党拡大戦線候補者の内訳はコッセ候補(15%)、ビジャーレ候補(17%)、マルティネス候補(20%)となった。また、24日、世論調査会社Opcion社が同調査結果を発表したところ、野党拡大戦線(51.7%)、連立与党統一候補(38.4%)で、野党拡大戦線候補者の内訳はコッセ候補(19.6%)、ビジャーレ候補(14.6%)、マルティネス候補(17.5%)となった。

●6日、フェレス大統領府副長官は産業用大麻及び医療大麻産業発展の促進を目的とする2件の政令公布を発表。

●11日、サリーナス厚生大臣は8月1日から10月31日までに失業した者に対する国家健康基金(FONASA)の医療保証を3ヶ月延長すると発表。

●27日、ペニャ環境大臣及びアマリージャ環境次官が就任。

#### 【外交】

●3日、ラカジェ・ポウ大統領は外務省の予算削減により欧州1公館、アフリカ1公館、アルゼンチン及びブラジルのいくつかの領事館の閉鎖を発表。外交筋によると、閉鎖の対象となったのはポーランド及びアンゴラの大使館。

●6日、鉱業企業アラティリ社との裁判でウルグアイが勝訴。

●13日、ウルグアイ外務省はConaprole社のUY117工場からロシア市場へのバターの輸出再認可に関するプレスリリースを発出。

●20日、ウルグアイ政府はアブレウ元外務大臣をALADI事務総長に擁立。

●31日、第10回ウルグアイ・中国政策協議の実施。

●31日、ラカジェ・ポウ大統領はメルケル独首相とメルコスール・EU・FTAに関する電話会談を実施。

### 2 本文

#### 【内政】

##### 1 モンテビデオ県知事選挙世論調査

###### (1)Factum社

6日、世論調査会社Factum社がモンテビデオ知事選挙の投票動向調査結果を発表したところ、各政党及び候補者に対する支持率は以下のとおり。

ア 拡大戦線(FA):53%

(ア)コッセ候補:15%

(イ)ビジャーレ候補:17%

(ウ)マルティネス候補:20%

(エ)FA候補の誰か:1%

イ 連立与党

(ア)ラッフォ候補:34%

ウ 環境・動物愛護党:1%

エ 人民議会:1%

オ 白票及び無効票:3%

カ 無回答:8%

###### (2)Opcion社

24日、世論調査会社Opcion社がモンテビデオ知事選挙の投票動向調査結果を発表したところ、各政党及び候補者に対する支持率は以下のとおり。

- ア 拡大戦線(FA):51.7%
- (ア)コッセ候補:19.6%
- (イ)ビジャール候補:14.6%
- (ウ)マルティネス候補:17.5%
- イ 連立与党
- (ア)ラッフォ候補:38.4%
- ウ 白票及び無効票:5.3%
- エ 分からない、無回答:4.7%

## 2 大麻輸出に関する新たな政令の公布

6日、フェレス大統領府副長官は、産業用大麻及び医療大麻産業発展の促進を目的とする2件の政令の公布を発表した。うち1件は2018年、2019年、2020年に収穫された「精神活性作用のある医療用途の大麻」の輸出を許可するもので、もう1件は同時期に収穫された「精神活性作用のない大麻(産業用大麻)」の輸出を許可するもの。いずれの法令も大麻を商業化するための要件を定めており、生産、商業化もしくは工業化には有効なライセンス及び輸出の場合は仕向国からの許可証明書、製品の微生物検査などが必要となる。フェレス大統領府副長官は、政府は雇用のための外貨を生み出す目的で、研究所や乾燥施設を有する企業の設置を促進するために規制の枠組みの改革に引き続き取り組むことを約束すると付言した。

## 3 国家健康基金(FONASA)の保証を延長

11日、サリーナス厚生大臣は 8月1日から10月31日までに失業した者に対する国家健康基金(FONASA)の医療保証を3ヶ月延長すると発表した。資金調達はコロナウイルス基金から行われ、同措置には労働者及び保証の対象となる扶養家族も含まれる。

## 4 環境大臣の就任

27日、カネロネス県の衛生公社(OSE)の浄水場で環境省の大臣就任式が行われ、ペニャ環境大臣及びアマリージャ環境次官が就任した。同式典にはラカジェ・ポウ大統領をはじめ多くの閣僚が出席した。ペニャ環境大臣は就任に際し、環境省には複雑な課題があり業務は広範で横断的であるとし、国の環境政策に関し効果的なリーダーシップを発揮するため、まずは様々な分野における取り組みを整理、体系化、調和、連携することが重要であると述べた。

## 【外交】

### 1 財政削減によるウルグアイ大使館の閉鎖

3日、ラカジェ・ポウ大統領は報道陣に対し、外務省の予算削減について認め、欧州1公館、アフリカ1公館を閉鎖し、アルゼンチン及びブラジルのいくつかの領事館を閉鎖すると述べた。外交筋によると、閉鎖の対象となったのはポーランド及びアンゴラの大使館。

### 2 ブスティージョ外務大臣の訪西

4日、ブスティージョ外務大臣はスペイン政府からスペインと国際社会との友好・協力関係促進に際立って貢献した者に対して与えられるイサベル・ラ・カトリカ勲章グラン・クルス章を授与された。その後、同外務大臣はゴンサレス西外務大臣と会合し、新型コロナウイルス感染症の動向、メルコスール・EU・FTA、ベネズエラ情勢、パンデミック中の自国民の帰国支援及び救援活動における二国間の優れた協力体制、現在のラテンアメリカにおける問題等につ

いて議論した。

6日、ブスティージョ外務大臣はフェリペ6世スペイン国王と会合した。また、9日にはジョセップ・ボレルEU外務大臣と会合し、多国間のテーマについて議論した。

### 3 鉱業企業アラティリ社との裁判でウルグアイが勝訴

6日、常設仲裁裁判所(CPA)は鉱業企業アラティリ社のウルグアイに対する訴訟を棄却した。アラティリ社は、法令により採掘プロジェクトに実現不可能な変更を加えたとしてウルグアイ政府に対し3,536百万米ドルの賠償を求める国際訴訟を起こしていた。裁判所は原告に対し、裁判費用としてウルグアイ政府へ約4百万米ドルの支払いを命じた。

### 4 ロシア市場へのバター輸出の再認可

13日、ウルグアイ外務省はConaprole社のUY117工場からロシア市場へのバターの輸出再認可に関するプレスリリースを発売し、7月21日から8月12日までのブスティージョ外務大臣とビクトロビッチ露外務大臣との間のハイレベルな書簡のやり取りの後、8月13日、外務省及び農牧水産省の技術担当職員とロシアの動植物検疫局の間でテレビ会合が行われ、最終的に2020年8月17日から当該輸出を可能とする技術要件について合意に至ったと発表した。外務省によれば、右合意は高品質で安全性の高い製品により国際的に評価されている国内酪農業界にとっての成果であると同時に、ウルグアイとロシアが長い間維持している高いレベルの二国間関係を示している。

### 5 アブレウ上院議員をALADI事務総長候補に擁立

20日付当地主要紙報道によると、ウルグアイ政府は元外務大臣で国民党のセルヒオ・アブレウ上院議員をラテンアメリカ統合連合(ALADI)事務総長候補として正式に擁立した。それまでの候補者はメキシコ人のデ・ラ・ペニャ現ALADI事務総長及びロンガリク・ポリビア外務大臣の2名で、両候補者とも13加盟国のうち当選に必要な9票の獲得が困難であると見込まれていた。

9月18日、アブレウ上院議員が次期ALADI事務総長に選出された。

### 6 第10回ウルグアイ・中国政策協議

31日、アチェ外務次官は中国の鄭沢光(Zheng Zeguang)外務次官とテレビ会議形式で第10回ウルグアイ・中国政策協議を実施した。両外務次官は、新型コロナウイルス感染症拡大との戦いにおける重要な相互協力を称え合い、パンデミック中に双方が受けた支援に感謝した。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた二国間貿易回復への関心及び二国間貿易アジェンダを強化する目的で、経済貿易協力合同委員会の第20回会合の近日開催を希望する点で一致した。

### 7 メルコスール・EU・FTAに関する電話会談実施

31日、ラカジェ・ポウ大統領はメルケル独首相と電話会談を行い、メルコスール・EU・FTAの将来について議論した。メルケル独首相との会談後、ラカジェ・ポウ大統領はツイッター上で、「数分前、メルケル独首相と会談を実施した。期待されていた速度ではないが、協定は進展する。(パンデミックに加え)環境問題及び手続き上の問題が未解決である。チームでフォローアップを行い、結果を評価することで一致した」とコメントした。

ブスティージョ外務大臣は、アチェ外務次官及びエスクデル事務総局長同席のもと記者会見を開催し、ラカジェ・ポウ大統領及びメルケル独首相の電話会談では非常に率直な意見交換が行われたと述べ、メルコスール・EU・FTAの署名については、ウルグアイがメルコスール議長国を務める本年中に署名に至る可能性は低い、本年もしくは2021年上半期の実現

に向けてブスティージョ外務大臣と独外務大臣間で「定期的な会合」を実施することで合意したと述べた。

【要人往来】

○往訪

●3～12日 ブスティージョ外務大臣のスペイン訪問

○来訪

●なし